

◎日時・期間 所 場所 対 対象 定 定員 料 費用(記載がない場合無料) 他 その他 申 申し込み・応募方法 問 問い合わせ先
市役所への郵送は、〒525-8588 草津市役所(課名など) ☎・FAX 市外局番は「077」

草津市立プールの愛称決定!



8月に供用開始を予定している「草津市立プール(西大路町)」のネーミングライツパートナーが、前田建設工業株式会社関西支店に決定し、プールの愛称は「インフロニア草津アクアティクスセンター」となりました。

- 契約期間 7月1日～令和11年3月31日
 - ネーミングライツ料 年額600万円
- 問 プール整備事業推進室(7階) ☎561-6807、FAX561-2489



草津市長選挙は無投票 第20代市長に 橋川 渉さん



任期満了による草津市長選挙は、先月18日に告示されましたが、現職の橋川渉さん(75歳、東矢倉三)の他に立候補の届け出がなく無投票となり、橋川さんの再選が決まりました。

問 市選挙管理委員会 (3階、総務課内) ☎561-2301、FAX561-2483

新型コロナウイルスワクチン接種

申・問 健康増進課(2階) ☎561-6683、FAX561-0180



令和6年度の新型コロナワクチン接種について

国における方針は下記のとおりです。市の実施方針については、決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。

	現在(令和5年秋開始接種)	接種 希望者は早めに 予約して ください	令和6年度(4月)～ B類疾病の定期接種	季節性 インフルエンザ 定期接種と同様
接種の分類	特例臨時接種		B類疾病の定期接種	
目的	重症化予防のため		重症化予防のため	
対象者	生後6カ月以上の人		●65歳以上の高齢者 ●60～64歳*で重症化リスクの高い人	
接種期間、回数	●接種期間 昨年9月20日～3月31日(日) ●回数 期間中に1回		●接種期間 秋冬(予定) ●回数 1年に1回	
接種場所	集団接種会場、地域の医療機関		地域の医療機関	
接種勧奨、努力義務	あり(一部の人のみ)		なし	
自己負担	なし		あり(金額未定)	
使用ワクチン	ファイザー社、モデルナ社、第一三共社		未定	

※特例臨時接種の基礎疾患のある人とは範囲が異なります

3月1日(金)から本籍地でなくても戸籍証明書が取得できます

これまで本籍地でしか請求できなかった戸籍証明書が近くの市区町村の窓口で取得できるようになりました。郵送や代理人による請求はできず、窓口で交付します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

【発行できる証明書】・戸籍全部事項証明書(戸籍謄本)・除籍全部事項証明書(除籍謄本)・改製原戸籍謄本

問 市民課(1階) ☎561-2344、FAX561-2492



すべての人を大切にするために

～性の多様性について考えてみましょう～

問 人権センター (大路二、キラリエ草津3階) ☎563-1177、FAX563-7070

「LGBTQ」という言葉と共に性的少数者(マイノリティ)の「人権」に触れる機会が増えてきました。

「LGBTQ」とは、性的少数者を頭文字で表し、それらを総称する言葉です。「L」はレズビアン(女性の同性愛者)、「G」はゲイ(男性の同性愛者)、「B」はバイセクシャル(両性愛者)、「T」はトランスジェンダー(生まれた時に割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人)「性別越境者」(「Q」はクエスチョニング(自認する性や性的指向が分からない人)などの頭文字です。

近年は、自分が「LGBTQ」であると「カミングアウト(性自認や性的指向を自ら表明すること)」する人の声や存在によって、身近なところに性的少数者の人たちがいることに気付いた人も多くおられることかと思えます。

先日、朝日放送のテレビ番組

「探偵!ナイトスクープ」に、トランスジェンダーの18歳の大学生から、性自認に関する依頼が寄せられました。

男性として生まれた相談者は、小さい頃から野球に打ち込んできました。野球がもつとまくなるためには、より男性的なたくましい体になる必要があると考えていましたが、自分の体と心の性に対する違和感があるという現実に耐え切れなくなり、中学3年生の最後の大会を前に不登校になりました。

しかし、両親や担任の先生、野球部の仲間の協力や理解のおかげで、性の違和感にも少しずつ折り合いをつけることができると外見の両方で女性としての生活を送り、昨年の春に大学へ進学した相談者は、学内のサークルで野球部のエースを務めています。

一方で女性ホルモンの服用を考え始めたのですが、そうすると体が女性的になり、速球を投げることはできなくなりま

す。そこで相談者は、男性としての体と決別する覚悟を決めた。

「探偵!ナイトスクープ」に、トランスジェンダーの18歳の大学生から、性自認に関する依頼が寄せられました。

男性として生まれた相談者は、小さい頃から野球に打ち込んできました。野球がもつとまくなるためには、より男性的なたくましい体になる必要があると考えていましたが、自分の体と心の性に対する違和感があるという現実に耐え切れなくなり、中学3年生の最後の大会を前に不登校になりました。

しかし、両親や担任の先生、野球部の仲間の協力や理解のおかげで、性の違和感にも少しずつ折り合いをつけることができると外見の両方で女性としての生活を送り、昨年の春に大学へ進学した相談者は、学内のサークルで野球部のエースを務めています。

一方で女性ホルモンの服用を考え始めたのですが、そうすると体が女性的になり、速球を投げることはできなくなりま

るために自分の投球の最高速度を知りたい、可能ならば140キロの夢をかなえたいという依頼をしたのでした。

番組の中では、相談者に共感する父親の姿もありました。共に苦悩を乗り越えてきた親子は、最後のキャッチボールをとおして、互いに心を通わせているように感じました。

残念ながら、140キロの夢はかないませんでした。が、キャッチボールをしている父親の目の涙は、あらためて、今の我が子を理解し、これからの人生を応援する決断そのものでした。

依頼した本人と両親は性的少数者の実情を少しでも視察者に理解してもらいたいという思いから、相談者と共に父親とのテレビ出演を決められたとのことでした。

「LGBT理解増進法」(正式名 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律)

LGBT理解増進法は「理念法」として、全ての人にとって性には「多様性」があることをうたっています。また、多様性に関して寛容な社会の実現をめざすことを目的としています。

「LGBT理解増進法」
2023年6月公布・施行

実情を、まずは知ることだと思えます。

そして「カミングアウト」されたときは「カミングアウト」した人とされた人のお互いの「信頼」が重要です。「カミングアウト」には、人それぞれに込められた思いがあるからです。

理解することから始まる「共感」は、理解を求める人との距離感を埋めることもできます。これは、全ての人権課題に通じていえることです。そのためには、それぞれの人権課題に、まずは、関心をもって学んでいくことが必要ではないでしょうか。